

問1 武蔵野台地などの新田開発によって形成された集落周辺において、かつて薪炭の採取や堆肥用の落ち葉集めなどに利用され、生活や農業を支える重要な基盤であったが、昭和30年代以降のエネルギー源の転換や化学肥料の普及、および急速な都市化によって宅地や工業用地へと転用され、大幅に減少した土地利用（植生）の一般的な呼称を何というか。（2012年 全国公立入試 類似）

1. 人工林 2. 平地林 3. 屋敷林 4. 雑木林

問2 東南アジアに位置するある国の首都は、1970年代の激しい内戦によって都市機能が一時的に麻痺し、住民が強制的に農村へ下放されるなどの甚大な被害を受けた。しかし、和平合意後の復興期には、外資導入を目的とした経済特区が周辺に整備され、近年は急速な経済成長を遂げている。仏教寺院が点在するこの都市はどこか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. バンコク 2. プノンペン 3. ビエンチャン 4. ジャカルタ

問3 アフリカ大陸の中央部に位置し、赤道直下に広がる熱帯雨林を擁する。かつてはベルギーの植民地であり、銅やコバルトなどの豊富な鉱物資源に恵まれている。しかし、独立後の政情不安や、1990年代末以降に激化した断続的な内戦の影響により、5歳未満児死亡率が高く、初等教育修了率の向上といった社会開発に大きな改善がみられない状況にある国はどこか。（2012年 全国公立入試 類似）

1. 赤道ギニア共和国 2. コンゴ民主共和国 3. アンゴラ共和国 4. リベリア共和国

問4 アフリカ大陸を流れる大河の青ナイルと白ナイルの合流点に位置する都市は、乾燥帯に属し、古くから交易の要衝として栄えた。周辺での石油資源開発を背景に近代的なビルが建設される一方、住民の多くがムスリムであり、街区には多数のモスクがみられる。近年は政情不安や武力衝突による混乱が続いている、このスーダンの首都はどこか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. キンシャサ 2. プレトリア 3. モンロピア 4. ハルツーム

問5 北海道のニセコ地区における農業の地域的特色について述べた文の空欄 [ア] に当てはまる自治体名として最も適切なものを答えよ。「尻別川の下流平野に位置する蘭越町では水田を活かした米作りが盛んであるのに対し、羊蹄山の火山麓に位置する [ア] では、火山灰土壌の畑地を活かしてジャガイモなどのイモ類や野菜の栽培が盛んに行われている。」（2025年 全国公立入試 類似）

1. 黒松内町 2. 余市町 3. 倶知安町 4. 喜茂別町

問6 カナダ東部の起伏に富む沿岸部など、かつて大陸氷河に覆われていた地域において、氷河による侵食で形成されたU字谷に海水が進入してできた、両岸が断崖絶壁となる深い峡谷（湾）の地形を何というか。（2023年 全国公立入試 類似）

1. エスカー 2. モレーン 3. ドラムリン 4. フィヨルド

問7 かつては白豪主義と呼ばれる排他的な移民政策をとっていたが、1970年代以降は多文化主義へと転換し、アジア太平洋地域の一員としての外交・経済関係を重視するようになった。東南アジアの地域協力組織（ASEAN）との間で自由貿易協定（FTA）を締結するなど緊密な連携を行っているが、地理的にはオセアニアに属するため、同組織の正式な加盟国ではない国はどこか。（2010年 全国公立入試 類似）

1. オーストラリア 2. パプアニューギニア 3. ニューゼーランド 4. フィジー

問8 日本の丘陵地や台地において、かつて薪や炭の原料となる樹木の伐採や、農業用の堆肥とするための落ち葉かきなどを通じて、地域住民の手で維持・管理されてきた、集落周辺の二次林や農地が一体となった地域環境を何というか。（2024年 全国公立入試 類似）

1. 奥山 2. 棚田 3. 里海 4. 里山

問9 アラビア半島の内陸部に位置し、かつては乾燥地帯のオアシス集落にすぎなかったが、20世紀半ば以降の豊富な石油収入を背景に、近代的な高層ビル群や王宮、計画的な道路網が整備され、急速に人口数百万人規模の大都市へと発展したサウジアラビアの首都はどこか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ドーハ 2. マナマ 3. リヤド 4. サナア

答え合わせ・解説 No.9

問1	答え 2 平地林	武蔵野台地などの新田集落（路村など）の周辺には、かつて薪や炭、堆肥となる落ち葉を供給するための雑木林が広がっており、これを平地林（あるいはヤマ）と呼んだ。しかし、1950年代後半以降の燃料革命（石炭から石油・ガスへの移行）や化学肥料の普及により、これらの林の経済的価値が低下した。さらに、高度経済成長期以降の東京大都市圏の拡大に伴う都市化によって、これらの平地林は宅地や工業用地などに次々と転用され、その面積は著しく減少した。
問2	答え 2 プノンペン	カンボジアの首都であるプノンベンは、ポル・ポト政権期の内戦により都市住民が強制退去させられるなど、壊滅的な打撃を受けた。1990年代以降の復興期には、経済特区の設置などによって外資系企業（特に繊維・縫製産業）を積極的に誘致し、急速な工業化と都市開発が進んでいる。
問3	答え 2 コンゴ民主共和国	旧ベルギー領であるコンゴ民主共和国は、カタンガ地方を中心に銅やコバルトなどの鉱産資源が豊富な国である。しかし、独立直後の混乱や、1990年代末以降に周辺国を巻き込んで激化した断続的な内戦、政情不安により、国内の社会基盤が著しく損なわれた。この結果、サヘル地域のような砂漠化による飢饉ではなく、武力紛争や経済の混乱が主因となって、5歳未満児死亡率が極めて高く、初等教育修了率の向上が遅れるなど、社会開発の停滞が続いている。
問4	答え 4 ハルツーム	スーダンの首都であるハルツームは、白ナイル川と青ナイル川の合流地点に発達した都市である。イスラム文化圏に属するため、都市景観には多数のモスクがみられる。2000年代以降、石油輸出による経済成長を背景に近代化が進んだが、国内の政情不安や軍事衝突による影響を強く受けている。
問5	答え 3 倶知安町	羊蹄山の麓に広がる火山灰土壌の畑地を活かして、ジャガイモなどのイモ類や野菜の栽培が盛んなのは倶知安町である。一方、尻別川の下流平野に位置し、水田面積が広く米の生産が盛んなのは蘭越町である。
問6	答え 4 フィヨルド	カナダ東部沿岸やノルウェー、チリ南部などの高緯度地域では、過去の氷期に発達した大陸氷河の侵食作用によって深いU字谷が形成された。後氷期の海面上昇にともない、この谷に海水が深く入り込むことで、急峻な崖に囲まれた狭く深い湾が形成された。これがフィヨルドであり、起伏に富む独特の沿岸景観を作り出している。
問7	答え 1 オーストラリア	オーストラリアは、かつてイギリスを中心とする連邦国家としての結びつきを重視し、白豪主義をとっていた。しかし、第二次世界大戦後はアジア諸国との経済的結びつきが強まり、多文化主義へと移行した。東南アジア諸国連合（ASEAN）とは、ニュージーランドとともに自由貿易協定（AANZFTA）を締結するなど経済的な連携を深めているが、地理的にオセアニアに位置するため、ASEANの正式な加盟国ではない。
問8	答え 4 里山	人家近くにあつて、薪炭用木材の採取や落ち葉による堆肥作りなど、人間の生活や農業活動と密接に結びついて維持されてきた森林やその周辺環境を指す。エネルギー革命以降は管理が放棄されて荒廃が進んだが、近年では生物多様性の保全や市民参加型の保全活動（草刈りなど）の場としてその価値が再評価されている。
問9	答え 3 リヤド	アラビア半島中央部のナジュド地方に位置するこの都市は、かつては内陸のオアシス都市であった。1932年のサウジアラビア王国建国にともない首都となり、その後の石油開発による莫大な富（石油収入）を背景に、近代的な高層ビルや高級住宅地、王宮などが建設され、急速に近代的な大都市へと姿貌を遂げた。